

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス! これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

冬本番を迎えて寒くなりましたが、12月後半は狙い目の釣り物がめじろ押し。何かと忙しい年末ですが、行き帰りはどうか安全運転で。



▲金谷沖のカワハギは年末へ向けて期待大

数釣りシーズン本格化 上総湊のカワハギ好調

◎内房上総湊港発! 金谷沖

本誌編集部 近田 憲男 Norio Chikuda

11月26日、内房上総湊の加平丸のカワハギ船にお邪魔した。加平丸はエビタイの伝統釣法・シャクリ釣りで周年出船する老舗船宿で、秋冬にかけてはカワハギ乗合も出船している。釣り場は金谷沖や竹岡沖の浅場など、地元の船しか入れないポイントも狙えるため、ゆつたりりんびり釣りを楽しむことができる。

「それでは始めてください。どうぞ!」のアナウンスでスタート。

好スタートを切る

今シーズンは10月の開幕からよく釣れていて週末ともなれば盛況となり、当日も12名が乗船した。

開始早々に左ミヨシ2番の石川さんが20センチ級のカワハギを上げた。続いて右ミヨシ、同3番、同2番、左ミヨシ。左トモ2番の女性の方が20センチ前後を上げた開始30分ほど、半数が本命を手にしたところで潮回りとなる。

各座席にアサリのむき身エサが配られ、準備が整ったところで定刻の7時に出船。強い北寄りの風と雨で真冬並みの寒さの中30分ほど南下し、金谷沖の水深25メートル前後のポイントに到着。

村山麻里さんは3年前からカワハギ釣りを始めて、シーズン中は月一回のペースで通っているらしい。

上総湊港と金谷港出船のカワハギ船が数隻いるだけで、広く流して狙えそう。

潮回り直後はチャンスらしく、船内のあちこちでカワハギが釣れ上がる。

開気だ。

上げ潮で活性高まる

石川さんは宙釣りだ。着底したら竿先を目の高さに合わせて構え、仕掛けを1.5メートルほど上げる。そこから竿先を10センチくらいの幅で上下に揺らしながら仕掛けをゆっくりに落とし込んでいく。

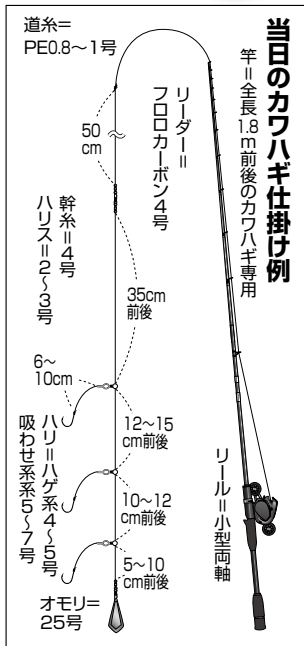
と気合十分な長谷川さん。11時を過ぎると、釣れてくるペースが落ちてきた。「なんか潮がたるんできちゃいましたねえ……」と船長は何度も流し変えてくれる。

「やる気のあるカワハギにエサを追わせて釣るイメージです」と教えてくれた。その後も数をのばして11時までに25センチを頭に20枚を数えた。

「今日は少しでも上達できるようカワハギ釣りの練習にきました」と教えてくれた矢澤さんは縦の釣り。

左舷2番の長谷川さんは石川さんに連れられて前週がカワハギデビュー。今回はロッドを新調しての2回目の釣行という。

竿先でユラユラとオモリを揺らすように誘い下げ、オモリを底に着けてゼロテンションで少し待ち、エサ取りに邪魔されないよう50センチ巻いてアタリを待つ。これが見事にハマり20〜24センチのカワハギを3連釣。実に気持ちの



当日のカワハギ仕掛け例

●Tackle Guide
吸わせ系のハリは、文字どおり吸い込んでくれるので、活性の高いときはオートマッチクにハリ掛かりしやすい傾向もあり、ビギナーにもおすすめ。なお今シーズンはサバグが多くハリごと切られることが多いので、ハリス付きの替えハリをたくさん用意しておこう。



▲底釣りでも宙釣りでもよく釣れた

▼群れの濃い場所に差しかかると一荷釣りも



船宿information

内房上総湊港
加平丸
☎0439-67-1293
(詳細は巻末の情報欄参照)



山田 孝一 船長

▶料金=カワハギ乗合一人 8500円 (エサ、氷付き)
▶備考=予約乗合、7時出船。ほかマダイへも出船

知得! Tips and Tricks
100円ショップの商品を釣り用のアイテムへ流用
100円ショップに行くと、「釣りに使えそう」と釣り人目線で商品を選ぶことがあるはず。工夫して使えば釣具に早変わりするものがあり、便利グッズを発掘する楽しみもある。しかも安い(これ大事!)。当日の乗船者の中にも愛用者は多く、なかでもザルは人気で数名の方がエサを入れるのに使っていた。

▲ザル。小型でかさばらず、エサを締めたりするのに便利

▲滑り止めシート。竿を置いたときにズレ落ちないようにする

▲スパイスケース。使用後のハリを収納する